

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 芦屋はまゆう

## 目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 1 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	ホームで出来る終末期の支援について、利用者や家族に理解を得ているが、今後は家族の要望に応えられる体制の構築を目指す。	職員の介護力の向上と、主治医の積極的な協力が前提で、長年入居されている利用者や家族からの要望を前向きに検討し、利用者の終末期の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
2	42	食事を楽しむことが出来る支援	検食委員会を立ち上げ、併設厨房で作る料理も改善されているが、彩りや盛り付けに工夫し、利用者の食欲に繋がるように、今後の課題として検討していく。	利用者と職員が同じテーブルで、楽しい会話をしながら、食べる食事は、利用者の食欲を増進していくので、器を少し改善し、食事が健康の源になるように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。